

2018年(平成30年)3月期 第1四半期 決算概要

長瀬産業株式会社
2017年8月3日

目次

連結損益計算書	2
地域(国内・海外)別売上高	3
セグメント別売上高 2期比較	4
セグメント別営業利益 2期比較	5
連結貸借対照表	6

- 売上高：国内・海外ともに事業が好調に推移したことに加え、円安の影響もあり、全体として増収
- 営業利益：事業収益の改善に加え、退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が減少し、増益

(単位:億円)

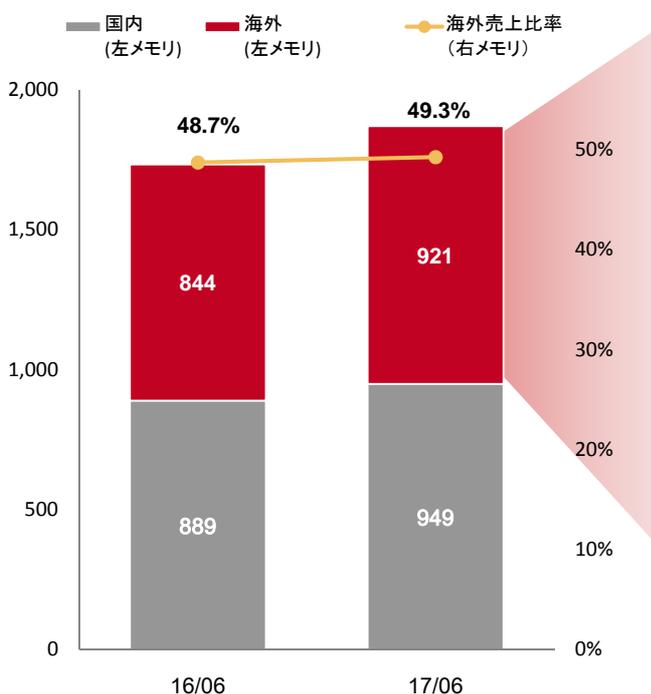
	16/06	17/06	増減額	前年同期比	公表見通し
売上高	1,733	1,871	+137	108%	7,320
売上総利益	225	240	+15	107%	950
<利益率>	13.0%	12.9%	-	△0.2%	13.0%
販売費及び一般管理費	190	184	△5	97%	759
営業利益	35	56	+20	159%	191
経常利益	39	63	+24	163%	209
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	34	+12	156%	125
US\$レート (期中平均)	@108.1	@111.0	@2.9円安		@108
RMBレート (期中平均)	@16.5	@16.2	@0.3円高		@15.6

【為替変動による17/06期末売上高および営業利益への影響額】
 売上高: 約+16億円 営業利益: 約+0.6億円

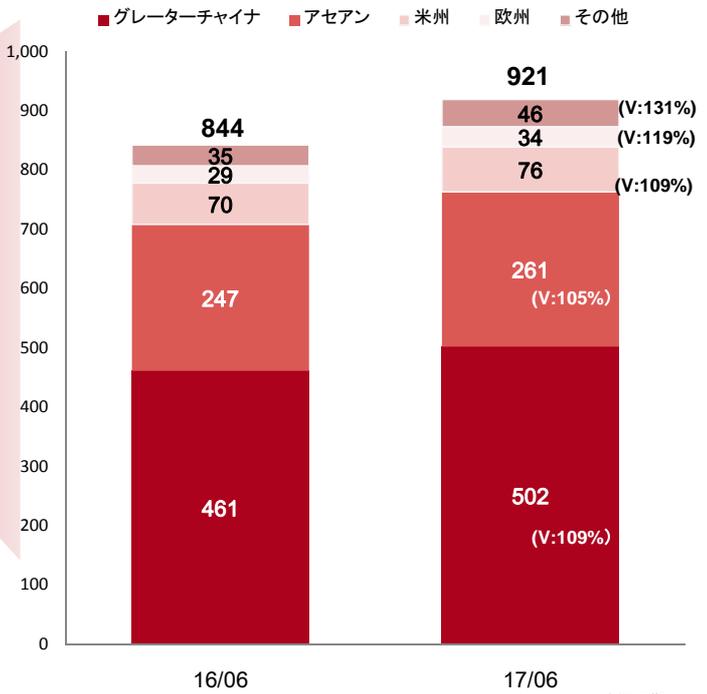
地域(国内・海外)別売上高

- グレートチャイナおよびアセアンを中心に海外売上高が増加し、海外売上比率は0.5%上昇

国内・海外売上高(億円、%)



海外売上高の地域別内訳(億円、%)

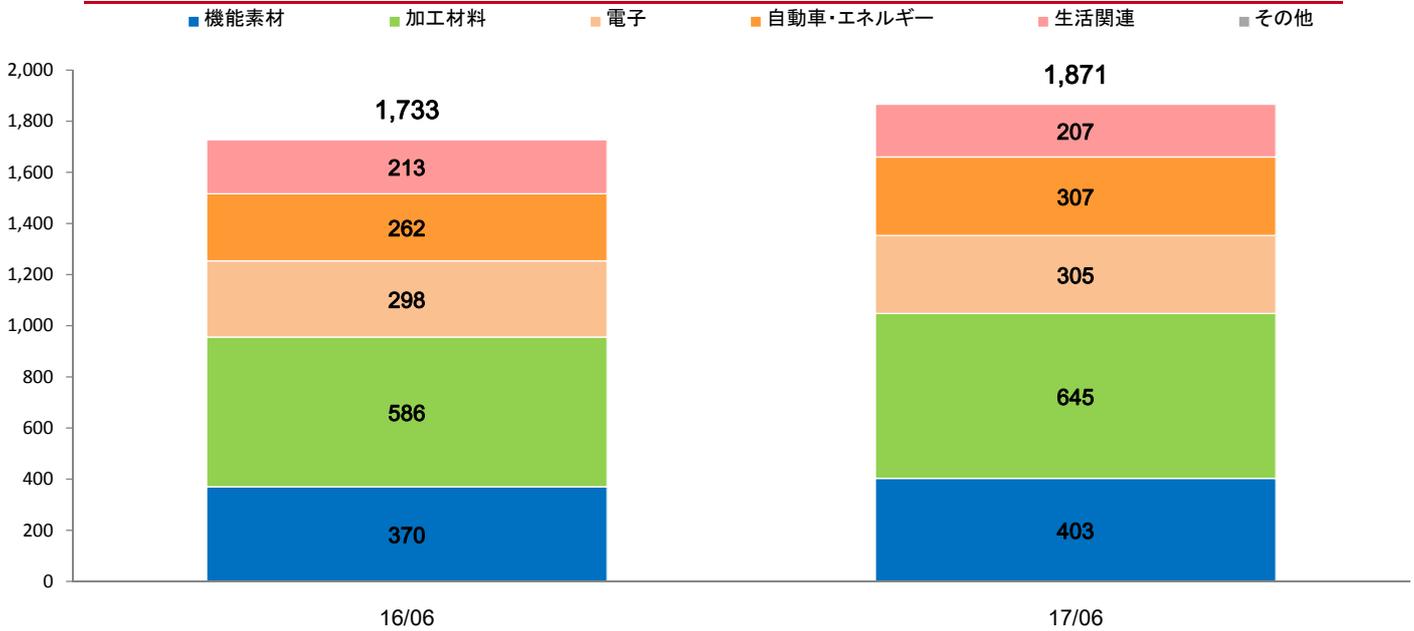


※V: 前年同期比

セグメント別売上高 2期比較

- 加工材料:国内外において合成樹脂等の売上が増加し、増収
- 自動車・エネルギー:国内での樹脂ビジネスが順調に推移したことに加え、カーエレクトロニクス関連商材の売上が増加し、増収
- 生活関連:榊林原の売上は増加したものの、医療・医薬分野における原料・中間体および医療材料等の売上が減少し、微減

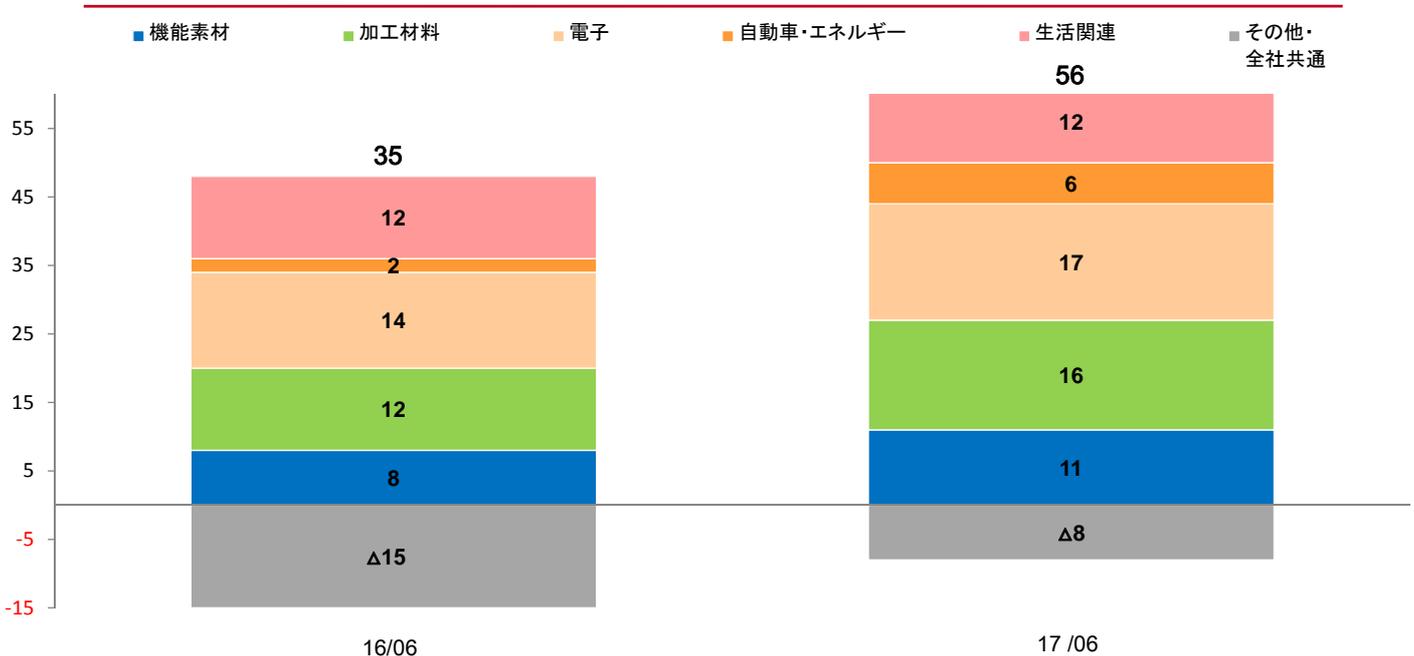
セグメント別 売上高 (億円)



セグメント別営業利益 2期比較

- 生活関連セグメントは微減となったものの、その他全セグメントにおける増収に加え、加工材料セグメントを中心とした製造子会社の採算改善等が寄与し、増益
- 上記に加え、主に全社共通セグメントの退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が減少し、全体として20億円の増益

セグメント別 営業利益 (億円)



■資産: 売掛金・たな卸資産の増加および時価上昇による投資有価証券の増加等により、99億円増加

■純資産: 親会社株主に帰属する四半期純利益34億円の計上のほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、52億円増加

■自己資本比率は、前連結会計年度末と同様の54.7%

資産				負債及び純資産			
	17/03	17/06	増減額		17/03	17/06	増減額
流動資産	3,212	3,266	+54	流動負債	1,664	1,621	△43
現金・預金	398	380	△17	支払手形・買掛金	1,020	1,032	+11
受取手形・売掛金	2,068	2,104	+36	短期借入金 (CP及び1年内返済予定長期借入金含む)	316	371	+54
たな卸資産	631	667	+36	1年内償還予定の社債	100	—	△100
その他	114	112	△1	その他	227	217	△9
固定資産	2,095	2,140	+44	固定負債	690	780	+89
有形固定資産	676	674	△1	長期借入金	200	267	+67
無形固定資産	407	405	△1	社債	200	200	—
投資・その他の資産合計	1,011	1,060	+48	退職給付に係る負債	146	147	+0
投資有価証券	945	996	+50	その他(繰延税金負債等)	143	165	+21
その他	66	64	△2	負債合計	2,355	2,402	+46
資産合計	5,307	5,406	+99	純資産	2,951	3,004	+52
				株主資本	2,396	2,407	+10
				その他の包括利益累計額	505	548	+42
				その他有価証券評価差額金	476	514	+37
				為替換算調整勘定	31	36	+4
				その他	△2	△2	+0
				非支配株主持分	49	48	△1
				負債及び純資産合計	5,307	5,406	+99



<https://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2017年8月3日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。